

科目名	臨床治療学セミナーⅡ（作業療法）	担当教員	三宅 環※ 山田 恭平※ 佐々木 努※ 久保 勝幸※ 佐藤 拓也※ 松田 竜幸※ 泊り 由希子※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	------------------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	4年次	前期	1単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR42F	①、②					

科目概要	臨床治療学実習Ⅱに向けて学生同士の小グループ（模擬患者役、療法士役、実施内容確認役）に分かれ、講義内容に記された項目を通して临床上必要な知識・技術・態度について学習し、各自に対し試験（客観的臨床能力試験：OSCE）を実施する。また、これまでの臨床実習と同様に、職業人としての常識的行動や責任ある行動、対象者や病院施設のスタッフとの望ましい関係、医療におけるチームワーク、協業について再度理解を深める。
学習目標	① 実習に必要な態度・姿勢について理解する。 ② 実習領域に関連する知識を復習する。 ③ 実習領域に関連する実技を復習する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験教員担当項目
1	演習1	実習に必要な態度・姿勢	実習に必要な態度と姿勢を理解する。	担当教員 全員
2	演習2	実習領域に関連する知識	実習領域に関連する知識を復習する。	担当教員 全員
3	演習3	〃	〃	担当教員 全員
4	演習4	〃	〃	担当教員 全員
5	演習5	〃	〃	担当教員 全員
6	演習6	〃	〃	担当教員 全員
7	演習7	〃	〃	担当教員 全員
8	演習8	実習領域に関連する実技	実習領域に関連する実技を復習する。	担当教員 全員
9	演習9	〃	〃	担当教員 全員
10	演習10	〃	〃	担当教員 全員
11	演習11	〃	〃	担当教員 全員

12	演習 12	〃	〃	担当教員 全員
13	演習 13	〃	〃	担当教員 全員
14	演習 14	〃	〃	担当教員 全員
15	演習 15	〃	〃	担当教員 全員
<b>評価方法</b>		関連知識に関する試験（50%）、客観的臨床能力試験 OSCE（50%）、症例試験（50%）とし、合計 60%以上で合格とする		
<b>課題に対するフィードバック</b>		講義中、講義終了後に質問を受け、回答する。		
<b>教科図書</b>		なし		
<b>参考図書</b>		なし		
<b>学習の準備</b>		予習：臨床治療学実習Ⅱに向けて、これまで学習した内容を復習すること（15分） 復習：講義・演習内容について、理解を深めること（30分）		
<b>オフィスアワー</b>		講義当日の16時30分～17時30分、講義翌週当日の16時30分～17時30分 ほか各担当教員から連絡する。		
<b>担当教員欄に※印を付した教員の 実務経験</b>		担当教員の実務経験を基に、臨床評価学実習Ⅱに向け、知識、技術、態度面も含めて客観的臨床能力試験（OSCE）を実施し、これまでの臨床実習と同様に、職業人としての常識的行動や責任ある行動、対象者や病院施設のスタッフとの望ましい関係、医療におけるチームワーク、協業について実践的な指導をする。		